

法政大学校友連合会
平成17(2005)年度代表議員一覧

1面からつづき

林 肇(64・法・法)	大分県支部	桐生支部	経済学部同窓会	前田 良篤(77・社・法)
法友会連合支部	岡村 邦彦(80・法・法)	三浦 邦彦(50・専門部政経科) 富士支部	山本 博史(45・社・法)	富山県支部
岩村 元雄(60・経・経)	大分県支部	金成 幸夫(56・経・商)	山本 友一(56・社・法)	西田 政司(83・経営)
東京紙商法友会	宮本 繁樹(59・経・経)	いづき支部	社会学部同窓会	富山県支部
中村 之栄(50・経・商)	茨城県南支部	原田 憲一(60・経・経)	中山 重臣(61・社・法)	吉田 義夫(64・経・経)
東京多摩支部	栗山 周志(63・工・電)	いづき支部	社会学部同窓会	富山県支部
小宮 陽一(63・経営)	茨城県南支部	梅沢 一夫(55・経・経)	小林 幸彦(76・社・法)	森實 貴幸(62・法・法)
二高同窓会	伊藤 徳昭(78・経営)	潮崎 敏彦(60・経・経)	明治安田生命法友会	北九州支部
品田 秀行(71・経営)	宮城支部	経済学部同窓会	神沼 邦彦(63・経・経)	近藤 静子(女子高)
二高同窓会	田中 啓司(76・法・法)	経済学部同窓会	応援団OB会	女子高同窓会
大八木勇夫(62)	宮城支部	経済学部同窓会	山田 綾子(61・法・法)	山田 綾子(61・法・法)
二高同窓会	岸田 良平(61・経・商)	経済学部同窓会	末石 恒夫(80・経・経)	法学部同窓会
安藤 秀樹(65・社・法)	鎌倉法友会	経済学部同窓会	長谷川光延(51・経・経)	法学部同窓会
アメリカンフットボール部OB会	山川 久美(59・法・法)	経済学部同窓会	目黒支部	法学部同窓会
小川 米三(56・経・経)	鎌倉法友会	経済学部同窓会	西 康宏(79・経営)	法学部同窓会
静岡支部	宇部支部	経済学部同窓会	岡山支部	法学部同窓会
竹田誠之介(63・経・経)	出口 翼(56・経・経)	経済学部同窓会	下山 宏昭(66・法・政)	法学部同窓会
今治支部	岩見沢支部	経済学部同窓会	岡山支部	法学部同窓会
佐藤 平治(65・法・法)	石塚 栄一(58・法・法)	経済学部同窓会	伊藤 信之(79・文・地)	法学部同窓会
福島支部	松本支部	経済学部同窓会	所沢支部	法学部同窓会
鈴木 嘉能(54・経・経)	秋元 信二(62・法・法)	経済学部同窓会	中矢 春樹(61・経・経)	工学部同窓会
一高同窓会	三六法人会	経済学部同窓会	石川県支部	工学部同窓会
室山 肇(55・経・経)	永崎秀一郎(57・経・商)	経済学部同窓会	小林 一郎(58・経・商)	工学部同窓会
一高同窓会	横濱支部	経済学部同窓会	世田谷支部	工学部同窓会
齊藤 利彦(60・工・経営)	荒武 連(71・法・法)	経済学部同窓会	竹石 松次(59・社・法)	工学部同窓会
一高同窓会	鹿見島支部	経済学部同窓会	新淵支部	工学部同窓会
曾根 安彦(63・工・建)	鹿見島支部	経済学部同窓会	松尾 幸静(71・文・地)	工学部同窓会
筑豊支部	野上 武(45・旧制法政中学) 法友会	経済学部同窓会	福岡支部	工学部同窓会
木村 昇(61・経・経)	岩村 文夫(62・法・政)	経済学部同窓会	安部 幸司(59・社・法)	工学部同窓会
会津支部	八戸支部	経済学部同窓会	山梨支部	工学部同窓会
石橋 直(64・経営)	河村 靖男(67・法・法)	経済学部同窓会	中野 忠(59・経・経)	工学部同窓会
西松建設法友会	八戸支部	経済学部同窓会	ワンダーフォーゲルクラブ	工学部同窓会
宮本 幸彦(63・経営)	伊達 正悟(70・経・経)	経済学部同窓会	大井巳喜彦(64・経・経)	工学部同窓会
経営学部同窓会	文化シャッター法友会	経済学部同窓会	中退) スケート部OB・O	工学部同窓会
久保田和則(65・経営)	吉田 光男(55・経・経)	経済学部同窓会	G倶楽部	工学部同窓会
経営学部同窓会	六角会	経済学部同窓会	小鷹 俊彦(57・経・商)	工学部同窓会
城戸 克二(66・経営)	花本 政美(64・社・法)	経済学部同窓会	練馬支部	工学部同窓会
熊本支部	清水 文雄(75・社・法)	経済学部同窓会	細川 賢(92・経・経)	工学部同窓会
市川 泰成(57・工・土)	福井県法友会	経済学部同窓会	天野 勝教(78・法・法)	工学部同窓会
板橋支部	八代支部	経済学部同窓会	立浪 勝(71・工・電)	工学部同窓会
秋葉 豊稔(64・社・法)	江原晴一郎(57・経・商)	経済学部同窓会	富山県支部	工学部同窓会
茂原支部	石井 明夫(60・経・経)	経済学部同窓会	松岡 幸雄(73・経・経)	工学部同窓会
柳原 純二(73・経営)		経済学部同窓会	富山県支部	工学部同窓会



法政トピックス

ドイツ年

2005年4月から2006年まで、「日本におけるドイツ年」ということで、4月5日に「ドイツ語キャラバン隊」が多摩キャンパスよりドイツ語のミに...

新入生合宿

多摩キャンパスの新入生

合宿が4月29日、5月1日に河口湖の「富士緑の休暇村」で開催されました。経済学部、社会学部、現代福祉学部の新入生の希望者、2、3年生の学生スタッフ、教職員の総勢33人が、この大学の大学生活をいかに有意義に過ごすかというテーマで2泊3日の合宿を行いました。ドイツ語やゲーム、地元の専門家を招いての「ほうとう」作りと豊富な企画に、参加した新入生たちは満足していました。

村山美恵子さんから法政大学通信教育部奨学金に1000万円

1.奨学金名 法政大学通信教育部村山奨学金
2.奨学金の財源 村山美恵子氏から10,000,000円の寄付を基金とし、その果実を財源とする。
3.経緯 村山美恵子氏は、法政大学文学部日本文学科通信教育課程を2005年3月に卒業した。亡夫・村山務氏の退職慰労金を通信教育部に在籍する勤労学生を対象とした奨学金として活用したい旨の強い意向があり、名前を冠した奨学金とすることになった。
4.規程等の制定 奨学金基金規程及び奨学金給付規程を制定し、運用する。
5.奨学金給付の実施時期 2006年4月(予定)
6.詳細の問い合わせは 通信教育部事務総務課長 中嶋 和嘉まで。電話 03-5211-4436

ドイツ年

スにやってき二レッスンを学生たちと行いました。赤、黄、黒 ドイツの国旗は赤、ゴールドそして黒色で、自動車の色はそれを表しています。スワゲンと。共に、東京ドイツ語を履修する学生が減っていることをター講師のアグリッペン先生は心配していました。今度ドイツにケセル・グリッペン先生一行が新入生歓迎を来訪したという意気込みは大きく、新入生たちにドイツの良さを語っています。(石川郁二)

新入生合宿

第6回目になります。さらに、4月から設立されたキヤリアセンタースタッフでも新入生合宿が初めて行われました。最近の法政大学は、学生への教育という大きなことに力を入れている。このことから大学生活をいかに有意義に過ごすかというテーマで2泊3日の合宿を行いました。ドイツ語やゲーム、地元の専門家を招いての「ほうとう」作りと豊富な企画に、参加した新入生たちは満足していました。

法政大学 副会長 小林 一久 工学部1964年卒	法政大学 副会長 中野 忠 経済学部1959年卒	法政大学 副会長 鈴木 康浩 経営学部1963年卒	法政大学 副会長 鹿山 秀佳 社会学部1959年卒	法政大学 副会長 大石 勝康 経済学部1953年卒	法政大学 副会長 古澤 壽輔 経営学部1963年卒	法政大学 副会長 福元 淳一 経済学部1967年卒	法政大学 副会長 松本 孝利 工学部1966年卒	法政大学 副会長 河端 照孝 経営学部1963年卒	法政大学 副会長 岩部 金吾 経済学部1956年卒
-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

卒業生訪問

こんにちは！

「江戸切り子」三代目。日本の伝統ガラス工芸継承推進者の小林英夫さんを東京・江東区猿江の自宅にお訪ねした。ここ一帯は60年前の3月10日の東京大空襲で焼け野原になった下町。小林さん一家は長野市に疎開して空襲の難を逃れた。小林英夫さんは1923(大正12)年5月5日墨田区菊川生まれの82歳。生粋の江戸っ子だ。とても、80歳代とは思えぬ活潑さで、インタビューに応じてくださった。剣道は7段教士、今日は剣道横濱公武会を汗を流してきただけ、今も現役である。

透明なガラスに 文様を彫る

カルチャーで教える

「江戸切り子の歴史は天保5年といわれます。170年前が始まりと思えます。透明なガラスに文様を入れていきます。被(きせ)ガラスの薩摩切り子は江戸切り子から十二、三年後の弘化4年島津が薩摩へガラス職人をつれていったのが始まりといわれます」。

「私は家業を継いで三代目です。昔は長男が家業を継ぐのは当たり前の時代です。菊一郎の頃から父・菊一郎の背中をみて育ちました。実は一代目は大橋巨泉さんの祖父、本所の徳松さんで、ここに二代目の父が弟子入りし切り子加工を始めたのです。硝子は先ず吹く、加工するという工程



「江戸切り子」三代目
日本の伝統ガラス工芸
継承推進者
小林 英夫さん

interview



太い矢来は珍しい
「矢来切り小鉢」

本で70軒ほどでしょうか。ほとんどが1人か2人でやっています。後継者を育てていかなければ」。

ごはん、味噌汁が欠かせないとおっしゃる。肉、魚はあまり進んで召し上がらない。6時半頃に起床し、毎朝竹刀の素振り。朝風呂に必ず入る。竹刀と型居合の刀をみせていただいた。剣道は7段教士、いまも励んでおられる。はじめたのは「小学校2、3年の頃から。子どものときはからだが弱かったため親から薦められて」。

「法政は中学から入りました。剣道部もあつたが野球部に入った。一期生で始

数々の受賞歴 黄綬褒章も

47(昭和22)年から父上・菊一郎さんに師事し江戸切り子の三代目として研鑽を重ね日本伝統工芸展での奨励賞受賞、宮内庁お上り、日本伝統工芸展の鑑査委員、日本ガラス工芸協会優秀賞受賞などその道一筋。97年東京都技能継承推進者認定、99年には黄綬褒

随想

榎木尚一さんは新潟市の榎木酒造社長。清酒「鶴の友」の醸造元として知られる。「鶴の友」は新潟銘酒の中でも久保田や寒梅などと並び越後の酒として愛されている。(取材・皇野次男)



榎木酒造社長
榎木 尚一郎
(1962年経済学部卒)

「日本酒は食中酒」

激しい競争社会の中で小地域に根ざした地方文化と

清井悦郎さんは島根県松江市の大手企業・一畑電鉄グループの重鎮。松江の観光には、東京からのバス路線もある。地元では法政大学OBの組織づくりに奔走されている。(取材・竹内實昭)



一畑バス株式会社社長
清井 悦郎
(1966年法学部卒)

「故郷松江で頑張る」

望郷DNAに突き動かさ 歳決断実行の性格、翌日かれ「よし！帰ろう」と決

世はペットブーム。「犬、猫を愛する人々の応援をしよう」と「人助け犬助け」の事業を立ち上げた校友がいる。愛犬の散歩の世話・躰けから猫の食事・糞の処理サービス・金魚の餌も。この出張サービスネットワークは全国に広がっている。(取材・丸山堅司)



株式会社「J」代表取締役
古田 弘一
(1965年文学部卒)

「愛犬の散歩屋さん」

法政大学を卒業後、運良マン生活にバリエーションをう

鶴の友

良さが要らなう。日本人の食文化、食生活は非常に多彩だが、日本酒はどんな料理とも相性が良く、この理想的な飲酒形態である「食中酒」としての優れた特性を十分に活かしたい。

上手な酒の飲み方は少量飲酒がよい。酒好きな人は、とかく食事が疎かになり、必要な栄養素の摂取が阻害されてしまう。食中酒であれば大量の飲酒とはならない。料理を味わいながら必要な栄養をとれるだろう。酒を生業にしている者の言葉としては不思議かも知れないが、私は命に関わる大事な仕事をしていると思

代の恩師が親身になってお世話くださった。やっと地元の電鉄会社に採用された。恩師も電鉄社長も法政大学の先輩。有難かった。法政魂と10年間の外資系企業勤務の経験を活かして頑張った。苦しかったが、帰郷でDNAが落ち着いたためか、仕事に集中することが出来た。その電鉄会社の役員を卒業し、今はそこから分社したバス会社を運営している。松江市内循環バスのボディカラーを決めるとき、原案が数点上が



ボディカラーはオレンジ

わが「愛犬クッキー」と散歩中に、交差点でしっかり「お座り」で信号待ちしている。近所の見知らぬ女性から「良く躰けられてる犬ですね」と声をかけられた。その女性の犬はというと、強引に引張ついていた。「私の犬を同じように躰けて頂けませんか」この一言が現在の事業を始めるきっかけとなった。

最初は顧客獲得に悩ま苦労した。幸い、ペットトリストラブームとマスコミ旋風に乗って、現在のわが社の愛犬登録数は1万4千頭

法政大学校友連合会 鎌倉法友会会長 法政大学校友連合会 監事 中島和晃 法学部1951年卒	法政大学校友連合会 監事 岡田脩 経済学部1956年卒	法政大学校友連合会 茂原支部長 法政大学校友連合会 監事 渡邊光夫 経済学部1958年卒	長岡市ボランティア・アート・ハーブ・カリー会長 長岡たばこ販売協同組合総代会役員 長岡菓子組合三葉会会長 法政大学校友連合会理事 栗原俊夫 経済学部1951年卒	山口産業株式会社 法政大学校友連合会 理事 伊藤隆司 経済学部1953年卒	釧路商工会議所フライン大使 法政大学評議員 法政大学校友連合会 理事 柳弘 工学部1958年卒	法政大学校友連合会理事 東京紙商法友会会長 河内屋紙株式会社 代表取締役社長 岩村元雄 経済学部1960年卒	法政大学応援団OB会相談役 法政大学校友連合会 理事 安藤文雄 経済学部1962年卒	法政大学校友連合会 理事 安齊清一 経済学部1965年卒	工学部同窓会会長 法政大学校友連合会 理事 阿部鞏 工学部1966年卒
--	-----------------------------------	---	---	--	---	--	---	------------------------------------	--

自主マスコミ講座

法政大学、マスコミ界で大躍進

自主マスコミ講座が功績に寄与!

近年、わが法政大学のマスコミ界への就職実績が飛躍的に向上している。

これは、「法政大学自主マスコミ講座」の功績が大である。

マスコミ講座卒業生のうち、マスコミ内定者は、今年で750人を超えている。NHK32人、読売新聞社27人、朝日新聞社11人、日本経済新聞社・毎日新聞社・アサヒデイリー各7人、中日新聞社6人、電通・フジテレビ・TBS各5人、4人以下は日本テレビ、テレビ朝日、テレビ東京、朝日放送、よみうりテレビ、関西テレビ、共同通信社、北海道新聞社、日刊スポーツ新聞社、信濃毎日新聞社、講談社、小学館、



500人近く集まった講座説明会

集英社、文藝春秋、ベネッセ、博報堂、東急エージェンシー等マスコミ大手をはじめ全国のマスコミ各社に内定している。

自主マスコミ講座の特徴は、OBと教職員、学生が緊密に結びついていることである。OBの協力は、単なる指導に終わらず、多岐にわたっている。マスコミ合格者の増加がOB会組織

の活性化にもつながっている。本学出身のマスコミ人4000人のうち約1300人を擁するマスコミオレングジ会は若手OBの会員が年々増加し、隆盛を極めていた。「学ぶ者と教える者が真剣にぶつかり合う」という学園本来の姿が垣間見られて、感動さえ覚える。関係者によると、第2期生の3年目に、元フジテレビアナウンサー小島奈津子をはじめ一気13人ものアナウンサーが誕生し、講座の運営は軌道に乗ったという。

情報産業オレングジ会が発足

この2月、情報産業を支える法人を中心に、「情報産業オレングジ会(会長・河端昭孝)」が発足した。日立、NEC、NTT、ユニシスを始めネットサービス大手や東京のソフトウェア会社など20数社が参加。ポアンチード・タワ

が参加。ポアンチード・タワ125階の発足会には平林千牧総長もお祝いに駆けつけた。

情報産業に携わる人々が参加する大学のクラブは慶応、立教、早稲田、中央大学、

成前総長へ大島会長から「法大躍進のキーマン」としての功績に感謝して」記念品と花束が。また、同席された平林新総長へ歓迎の花束が贈呈された。

また、新会員のパイロットコーポレーション社長高橋清氏、同常務取締役今井正芳氏、島田理化学工業社長宮崎博氏の自己紹介があり、例年初参加会員として、

と信頼とラビッドだと、短期間に次々と政策を実現している様子は、埼玉県民にとっても頼もしい存在だ。

第3部の懇親会では、清

すべし」という心情からで

たものだ。そして水野は、

検察側の死刑求刑に對し

て、「懲役三年」が適当で

あると主張したのであ

った。水野の弁護にも拘らず、

安重根は死刑にされた(四

三年二月四日)、翌月二

六日に処刑された。なお、

ライオンズクラブはWe Serve(我々は奉仕する)をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ゴで発足した世界最大の奉

仕団体。日本には3409

ライオンズクラブとして

は、桜門・セントポール・

駿河台・白門に法政が加わ

って5大学となる。

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ゴで発足した世界最大の奉

仕団体。日本には3409

ライオンズクラブとして

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に地域社会の発展に

貢献する人々の集まりで、

1917年アメリカのシカ

ライオンズクラブはWe

Serve(我々は奉仕する)

をモットーとして、社

会、特に

歴史を刻む法政スポーツ

大学が2000年に創立120周年を迎えたのを機に文化系や体育系で区切りの年を迎える部が多くなっている。

今年に入り、1月に野球部が90周年を、3月にアメリカンフットボール部が70周年を、また6月に応援団が80周年を迎えた。それぞれ大学やOB・OG・現役など多数の関係者が出席して盛大な祝賀会が開催された。

昭和20年代から40年代にかけて6大学野球が全盛期の時には学生は大挙して神宮球場に足を運んだ。勝つても負けても雨の中でも互いに肩を組んで校歌を歌ったOB・OGは青春の思い出として心に刻み込まれていると思う。また選手の間を駆けまわって観戦する学生を前に全体で一心不乱に腕を振り歌を奏でる学生服姿のバンカラ男による応援団の活動も目に焼き付いていると思う。しかし、今年母校応援団に6大学初

野球部創部90周年記念祝賀会

野球部は、大正4年に創部してから今年で90周年を迎えたのを記念し1月15日(土)午後5時から東京の赤坂プリンスホテルで祝賀会を野球部OBや大学関係者など約400人が出席し盛大におこなわれた。



歴代監督とあいさつする金光監督

表して河野東京6大学野球連盟理事長が昨秋のリーグ戦で早大、明大に続いて1千勝を達成した。また唯一優勝40回を記録している野球部への敬意と在校生に神宮球場での応援を課外授業として取り入れるなど大学が観客動員に一環として積極的に関与してきたことへの謝辞を述べた。続いて佐伯弘治校友連合会会長などによる祝賀会が各世代の野球部OBを中心に思い思いに話が弾み、また現役の選手もこうした輪に加わるなか校井部長率いる応援団が「戦の勇者」と「チャンスの勇者」の演奏と応援をおこなった。昭和30年代からの歴代の監督服部、松永、五明、山本、山中の5氏が監督当時の経験談や裏話を披露したあと就任3年目を迎える金光現監督が今年こそ優勝

トマホークス創部70周年記念祝賀会を赤坂プリンスで開く

アメリカンフットボール部トマホークスは、今年創部70周年を迎えたのを記念し3月5日(土)午後5時から赤坂プリンスホテルで日本フットボール連盟や大学関係者OB会、父母会、後援会など全国から約600人が参加しておこなわれた。

昨年の関東リーグ戦で優勝し第59回甲子園ボールへ一昨年に続いて出場。立命館大学と対戦し残念ながら逆転で惜敗したが12回の甲子園ボール出場が物語るよう子に学生界屈指のチームに成長。

平成7年から監督に就任し昨年までの10年間で関東

法政大学応援団 創立80周年祝



東京6大学で初の女性副団長田中千春さん

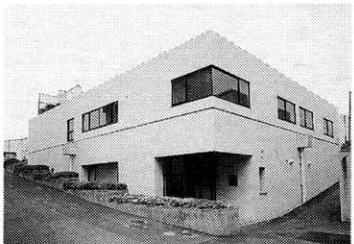
応援団80周年記念祝賀会

応援団80周年記念祝賀会が7月18日(土)、午後5時から東京プリンスホテル「鳳凰の間」で全国からO

法政の誇る研究所紹介 ⑥

法政大学 イオンビーム工学研究所

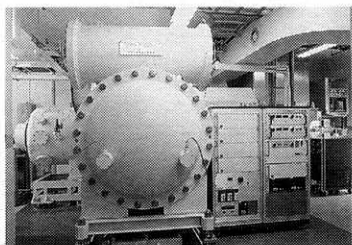
法政大学イオンビーム工学研究所は、固体材料の表面の解析および高機能化に関する研究を目的として、法政大学創立100周年を記念して設立されました。研究所の主な設備は、1980年に設立された最大250万ボルトの電圧を発生するバン・デ・グラフト型イオン加速器と、199



1983年増築後の研究所

ているものがイオンビームです。このイオンが一つの束となってある方向が一定の速度で流れ

帯電した粒子です。このイオンが一つの束となってある方向が一定の速度で流れ



92年度文部省研究設備助成で導入された大電流タンデム型加速器

また、近年注目を浴びているナノテクノロジーを

学生選手権で8連覇、甲子園ボールで2度の大学日本一に導くなど今日の黄金時代を築いた大森廣行(69年卒)監督は「すばらしいコーチ陣と戦術や戦略を練って切磋琢磨し学生と一喜一憂しながら戦ってきたが楽しい思い出ばかり。今後も自由と進歩を基本理念として部を文武両道の実践の場としてさらなる前進を成し遂げるとともに、新しい目標に向かって挑戦をしてい



大森廣行監督のあいさつ

OBやOGなどへ精神的にあいさつして回る大森監督と長年にわたって部を側面から支援してきた大石勝康OB会会長が今年卒業する父母の団と目を合わせる途端にほっとした穏やかな顔になるのを見て監督とOB会をそして父母との信頼関係の深さによる一体感がこのチームの強さの源となっており改めてスポーツを通しての教育の重要性を認識した。

(65年経営卒)の開会の辞で始まり、大学を代表して平林千牧総長が、大学は今年125周年を迎えたがその間校旗と校歌で伝統をつないできた。それをつないでいくのが応援団とその役割の大きさを称えたと佐伯弘治前校友連合会会長が左

多数の関係者、OBやOGを相手に現役の団員がかがいしく飲食物を運んだりと日ごろから身につけた規律正しい行動には伝統の重さを改めて感じた。吹奏楽部が即席で先輩と現役合同によるカントリードなどマーチを演奏するとその

のハートマンのすばらしさに一瞬会場内に静けさが漂った。男性リーダー部団員をバックに田中千春副団長が登場し校歌の一番を贈呈され、引き続き鏡開きとなり岩部金吾校友連合会会長の乾杯で祝宴となった。

「他部も活躍」バスケットの関東大学選手権は5月29日開幕し、法政大学バスケット部は25年ぶりの5度目の優勝。フェンシングの日本学生王座決定戦は京都で行われ、男子サークルで法政が3連覇を達成した。(高根典文)

サッカー堂々3位で折り返し優勝候補／オレンジ旋風だ!!

法政サッカー部は、昨年9勝3分2敗で2部リーグ優勝し18年振りに1部リーグ昇格を果たした。1部リーグ前期は4月3日開幕し、筑波大、駒沢大、順天堂大等々名門の強豪と対戦し6勝5分0敗勝ち点23で3位で前期を終了した。後期は9月3日開幕する。F



5/28対順天堂大戦 2-1で勝利(西が丘サッカー場)

◎50周年迎える 広告研究会・OB懇親会 来る11月5日(土)18時から法政大学ホアソナード・タワー26階ホールで、広告研究会発足50周年OB会を開催する。久しぶりに母校に集い、文化祭・三浦海岸でのキャンパスツアー運営・市場調査・論文集発行など思い出多い学生時代を振り返り旧交を温める。(75年法卒 岡部弘道)

自然との調和。NISHIMATSU



自然環境を大切に。私たちは快適な空間を創造します。

自然と人との共生。快適な空間の創造。それは、次世代に受け継がなければならないテーマです。私たち西松建設は、このテーマを基に、これからも、自然と技術が融合する環境づくりを目指します。

毎日ふれあう技術
西松建設
〒105-8401 東京都港区虎ノ門1丁目20番10号
電話 03(3502)0232 http://www.nishimatsu.co.jp/

センチュリー証券株式会社



私たちはお客様の信頼を大切に、またお客様の笑顔を支えに、「明るく」「楽しく」「気持ちよく」働く会社でありたいと考えています。今後も多くのニーズにお応えできるよう、商品・サービスの提供に努め、末永くお客様に愛される会社を目指してまいります。

代表取締役社長 野澤 正平
経済学部 1964年卒

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-26-5
TEL.03-4333-1000 http://www.century-sec.co.jp

法政大学校友連合会

平成17年度代表議員会議開催



「校友同士の交流を高めよう」と岩部新会長

平成17年度代表議員会議(議員総数204人)が7月18日午後1時から赤坂プリンスホテルで全国から102人の代表議員が出席して開催された。

会議は鹿山秀佳副会長の開会の辞で始まり、佐伯弘治会長が「平成14年10月の発足から約2年半を振り返り、その間、大学と校友会との友好関係、財務体質強化のための会員増員や事務局の機能アップなどに取り組み組織の基礎作りを役員とともに全力を注ぎ、新体制で会がより良い方向へ向かって前進してほし」と会長として最後の励ましのあいさつ。

引き続き大学来賓を代表し平林千牧総長が「これからは高等教育改革の時代を迎える。少子化が進むなか法人化に向かう国立大が私立大より早いテンポで改革に取り組み始めた。またこの6年間で新しい戦力を持つて私立大100校が新たに参入してきた。清成忠男前総長が進めてきた改革路線を一段と速めるとともに



前会長佐伯弘治氏へ花束が贈られた。

05年度の校友連合会新体制

小林一久役員推薦委員から新会長に岩部金吾氏(56年卒・経済学部)が、また監事に中島晃氏(51年卒・法学部)、岡田脩氏(56年卒・経済学部)、渡辺光夫氏(58年卒・経済学部)の3氏が選出されたことが報告された。引き続き岩部新会長から小林一久総務担当副会長(64年卒・工学部)、大石勝康組織担当副会長(53年卒・経済学部)、中野忠財財務担当副会長(59年卒・経済学部)、鹿山広報担当副会長(58年卒・社会学部)、新設された事業担当に鈴木康浩副会長(63年卒・経営学部)の5氏が紹介された。(詳細は1~2面)

議案承認される

1、「平成16年度事業報告」

(岡田安弘副会長) 校友連合会は、14年10月1日に再編して新発足し更なる全国組織の拡充・確立のため会則の整備など充実策を講じた。16年度は全国卒業生の集い・神奈川大会を開催し全国から約800名の参加があり盛況に実施することができた。また懇親会での募金も含め大会名で「大学120周年記念募金」にも協力。さらに中越地震の被災者にも見舞い金を贈るなどの3年間、輪を広げることができた。

5、「17年度予算案」 (山田一功財務委員長) 収支予算は16年度に比べ30万円増の2880万円。質疑応答では、伊藤隆司支部支部長から異なる会費徴収の是正と総会開催場所

和気あいあい盛り上った懇親会



和気あいあい盛り上った懇親会

原稿募集

次号の発行は2006年1月1日です。短信など近況、ご意見をお寄せください。地域のグループだよりは250字以内で。個人近況などは150字くらいで。住所、氏名、電話、学部、卒年(西暦)を明記の上、10月末日迄にハガキでお気軽に事務局まで。

新潟中越地震被災地からの便り

新潟中越地震被災地からの便り。小千谷魚沼校友会支部長 米岡 清四郎。義援金のお礼。小千谷魚沼校友会支部長 米岡 清四郎。本当にありがとうございます。義援金の対応につきまして、十日町市と協議をさせていただきます。また、(平成16年11月25日) 子ど達のために 十日町支部支部長 村山 徹。小千谷地区はひどい被害を受け、今、冬に備えて懸命な復旧の作業に取り組んでいる。方々からの支援御見

卒業生のみなさん 校友連合会の活動に参加しましょう

法政大学卒業生の組織、校友連合会には、傘下の各組織の理解と協力の下に実績を積み重ねている。母校法政大学は清成前総長のもとで大胆な改革をすすめて、今も注目を浴びている。大学と卒業生がともに手をとりあつてこそ母校の発展もありまが、卒業生の組織はまだ発展途上。一人でも多くの方に参加いただき、青春をともにした同窓、大学の仲間たちと楽しみながら、母校を応援していきたい。大学との楽しい企画や校友が集うイベントも開催されている。

編集後記

盛夏お見舞い申し上げます。▽大学を取り巻く環境は厳しい。法政大学は総合大学としての強みとその歴史と伝統、時代のニーズにこ好意で全国校友22万人に届けられる。法政ブランドを誇りに、頑張っておられる卒業生の皆さんの交流の一助となれば幸いです。(昭)

新委員会正副委員長

委員長	佐藤 敏夫
副委員長	齊藤 光雄
委員長	高木 功治
副委員長	竹内 實昭
委員長	小針 久
副委員長	高村 嘉昭
委員長	小宮 陽一
副委員長	保谷 高範
委員長	鈴木 公夫
副委員長	齊藤 利彦
委員長	渡辺 毎夫
副委員長	宮本 幸彦

役員会・委員会記録

(2004.12.12~2005.6.17)

役員会	第18回	05年1月30日	第19回	05年5月23日	
委員会担当副会長会議	第9回	04年12月21日	第10回	05年5月12日	
役員推薦委員会	第10回	05年3月9日	第9回	05年3月18日	
◆	第1回	05年2月4日	◆広報委員会	第49回	05年4月6日
◆	第2回	05年2月22日	◆	第50回	05年4月14日
◆	第3回	05年3月8日	◆	第51回	05年4月26日
◆	第4回	05年3月29日	◆	第52回	05年5月17日
理事会(新)	◆	◆	◆	第53回	05年5月24日
◆	第1回	05年4月15日	◆	第54回	05年6月9日
◆	第2回	05年5月30日	◆	◆	◆
総務委員会	◆	◆	◆	◆	◆
◆	第18回	05年4月20日	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆	◆	◆	◆	◆	◆
◆					

個人情報について

情報は「個人情報保護法」に基づき、細心の注意を払って利用、管理をいたします。